

IDCJ 評価事業部主催
『第 20 回プロフェッショナル統計分析ワークショップ
～基礎的技法からインパクト評価の技法までじっくり学ぶ統計分析テクニック～』

日時：2019年8月5日（月）、6日（火）スタンダードコース

2019年8月7日（水）応用コース

講師：佐々木亮・ウェスタンミシガン大学評価学博士（国際開発センター）

高木桂一・スタンフォード大学社会学博士（株式会社分析屋）

*一部講師は変更になる可能性があります。

事務支援：井出悠未（IDCJ 業務支援室）

場所：港区立商工会館会議室 東京都港区海岸 1-4-28

時間割：以下のとおりを計画しています。進み具合により1時間程度前後致します。

スタンダードコース（以下の演習を修了された方に修了証を発行致します。）

回	日時		内容	講師
2019年 8月5日 (月)	9:30-12:30	第1回	コースの概要説明 (1) 平均値の計算 (2) 標準偏差の計算	佐々木亮
	13:30-15:00	第2回	(3) 以前の状況と比較する（対応のあるt検定） (4) 隣町と比較する（対応のないt検定）	佐々木亮
	15:00-16:00	第3回	(5) 「はい/いいえ」の比率を比較する カイ2乗検定	佐々木亮
	16:00-18:00	第4回	(6) 周辺の複数地区と比較してインパクトを見る クロスセクションデータの重回帰分析	佐々木亮
2019年 8月6日 (火)	9:30-12:30	第5回	(7) 重回帰分析の手計算 この回は電卓およびエクセルでひたすら手計算してみる	佐々木亮
	13:30-15:00	第6回	(8) 過去の傾向線と比較してインパクトを見る 時系列データの重回帰分析	佐々木亮
	15:00-17:00	第7回	(9) 構造方程式モデリング(SEM)で因果関係を見る AMOSを使用して社会状況の背後の因果関係をフローチャートと数式で表してみる	佐々木亮
	17:00-18:00	第8回	(10) 構造方程式モデリングの留意事項 AMOSを使用した演習と留意事項の解説	佐々木亮

応用コース（自由参加。上記のスタンダードコースを修了された方は追加料金なしでご参加いただけます。）

2019年 8月7日 (水)	9:10-12:10	第9回 (自由参加)	(11) インパクト評価のためのサンプルサイズの計算 手計算を交えた解説と演習 (12) インパクト評価のためのメタアナリシス 手計算を交えた解説と演習	佐々木亮
	13:30-16:30	第10回 (自由参加)	(13) インパクト評価のための最新分析手法 差の差法(DID)、傾向スコアマッチング法(PSM)、操作変数法(IV)をエクセルで手計算してみる	佐々木亮
	16:30-17:30	(希望者のみ)	個別相談会(カウンセリング) 一人あたり20分程度で、統計分析の個別相談に応じます。	佐々木亮 高木桂一

参加条件

- (1) 足し算・引き算・掛け算・割り算ができること。
- (2) エクセルを日常的に使用していること(数字等の入力がスムーズにできる)。
- (3) Windows用のMicrosoft Excelが搭載されたPCを持参できること(Excelのバージョンは2003以上)。
ただし、Excel Mobileは「分析ツール」の機能がないので不可です。

持参物：

筆記用具(ペン、鉛筆、消しゴム)、Windowsパソコン、電卓(スマホ可)。

会場地図：東京都港区海岸 1-4-28
(<https://minato-shoukou.jp/access>)

ゆりかもめ竹芝駅徒歩 6分
-JR 浜松町北口から徒歩 7分
-都営地下鉄浅草線・大江戸線
-大門駅 B2 出口徒歩 10分

